

平成29年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況報告書

秩父の杣人が未来につなげる木挽きの技と心 (H29)

杣・木挽き・規矩観触会

事業の目的・内容

昔から使われてきた大鋸などの製材道具を使って、小中学校の授業、各地でのイベントで木挽きの実演を行う。地元の木材の活用方法や、材木の木取り、道具の使い方などを実際に体験してもらうことで知ってもらう。

木挽き体験を通じて、子どもも大人も森や木に対する興味・関心をもってもらい、道具を正しく使うことを通じて、生きる力を学ぶ機会を提供し、子どもたちには将来、森林や木材に係る仕事に就きたいという夢を抱いてくれることを目標とする。



今までの活動状況

杣・木挽き・規矩観触会の会員を中心として各催し・体験学習の協力を行った。

- ・小学校体験学習（於：荒川歴史民俗資料館）

平成29年

- 6月23日 秩父市立南小学校3年生（20名）
- 10月3日 小鹿野町立両神小学校3年生（17名）
- 10月12日 秩父市立大田小学校3年生（18名）
- 10月17日 秩父市立尾田蒔小学校3年生（30名）

平成30年

- 2月6日 秩父市立影森小学校3年生
- 2月8日 秩父市立秩父第一小学校3年生
- 2月15日 秩父市立久那小学校3年生
- 2月20日 秩父市立荒川東小学校3年生

- ・川越の職人の技体験市での木挽き体験

平成29年11月25日

（於：川越市仲町4 鍛冶町広場内）

- ・その他、各地での催し、イベントにて体験会を実施



木挽きは人を惹き付ける何かがあると考えている。一人ひとり木との向き合い方が異なり、それを感じながら実演をすることは本当に興味深い。木挽きのファンになり、わざわざ秩父まで来る人もいる。子どもは呑み込みが早く、大人よりも上手に木を挽くことに驚く。多くの人にとって忘れられない経験となればこんなに嬉しいことはない。



これからの活動・行事

今後も、秩父地域内外問わず多くの人に木挽きを体験していただき、木の魅力と伝統技術を伝えていきたい。